

(様式第4号)

上田市上下水道審議会 会議概要

1 審議会名	令和4年度(第7期)第8回上田市上下水道審議会
2 日時	令和4年7月22日(金) 午後1時30分から午後2時45分まで
3 会場	真田地域自治センター3階講堂
4 出席者	荒川委員、池田委員、内川委員、大口委員、梶村委員、金井(和)委員、北川委員、工藤委員、五味委員、高野委員、高橋委員、布施委員、堀内(吉)委員、渡辺委員
5 市側出席者	堀内上下水道局長、緑川経営管理課長、堀内サービス課長、関上水道課長、小井土上水道担当政策幹、藤原下水道維持担当係長、山越浄水管理センター所長、杉浦丸子・武石上下水道課長 (以下経営管理課) 橋詰課長補佐兼経理担当係長、堀内経理担当係長、下林課長補佐兼庶務係長、庶務係池内主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和4年7月29日

協 議 事 項 等

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 上下水道局長あいさつ
- 4 人事通知書の交付
○自治会長改選に伴う委員変更により、事務局から新委員へ人事通知書を交付(略式で手元に配布)
- 5 上下水道審議会の委員任期等について
○事務局から上下水道審議会の委員任期等について説明
・上田市上下水道審議会条例第4条第3項の規定に基づき、次期委員が委嘱される令和5年3月31日まで任期を延長することを説明
・委員からの意見、質問はなし(令和5年3月31日までの任期延長について了承を得た)
- 6 議題
(1) 水道事業の広域化、広域連携について
○事務局から資料1に基づき、水道事業の広域化、広域連携について説明
・委員からの意見、質疑応答は以下のとおり
(委 員) 今の説明で委員のみなさまが理解できたか。市民のみなさまも理解できないのではないかと。もう少しわかりやすい説明をお願いしたい。広域化について、上田市が上流にあるため施設を残すのか。また、今後退職者が増えることは水道業界だけでなく、技術継承が今まで上手くいってなかったのではないかと。
(事務局) 諏訪形浄水場の水を長野地域へ送り、他の施設を廃止したいと考えている。これは上田長野間の標高差を利用するものである。行政区域では施設の統廃合できない場合でも、上田長野圏域で考えれば統廃合できるため、費用の削減が図れる。上田市においても平成18年に市町村合併したことによって、つちや水源の開発を進め、経費の削減ができた。
人材育成について、ご質問のとおり職員は減っていく。その解決として、広域化や経営統合によって職員を確保できると考えている。
(委 員) 全体的に資料も説明も分かりづらかった。例えば「供給単価」という言葉は委員も市民も知らないと思う。今後供給単価が上がると予想されているが、それがどのように水道料金に影響するのか、市民生活に影響するのかを分かりやすく説明してほしい。県が示した資料と、上田市が今まで作っ

てきたビジョンや経営戦略との比較もして説明してほしい。8ページでは、事業統合によって55億円の値上げ抑制効果があるが財源はどこなのか。

(事務局) 供給単価とは、水道水1㎡あたりの販売単価のこと。ご質問のとおり、別の説明の方が分かりやすいかもしれない。

55億円の値上げ抑制は、広域化の補助金や財政支援によるもの。ただし、この補助金や財政支援には、広域化から10年間という期限がある。ご指摘のとおり、分かりやすい説明に努めていく。

(委員) 9ページの94億円は広域化のためにかかる金額なのか。上田市単独でダウンサイジングする場合と広域化してダウンサイジングする場合を比較してどうなのかを説明してほしい。市民が納得できる説明をお願いしたい。これから100年後も事業を継続しなければならないので慎重に進めてほしい。

(事務局) 9ページの94億円は、広域化によって上田市が削減できる金額である。また、各事業体の耐用年数を統一したためビジョン等との比較は難しい。

(事務局) いただいたご意見を参考に、市民のみなさまに分かりやすい説明をしていきたい。6月議会においても同様のご意見をいただいた。当審議会においても、広域化について検討していく必要性を感じている。

(委員) 事業統合や広域化に反対しているわけではないので、市民のみなさまの理解が得られるような説明をお願いしたい。

(委員) 上小地域の事業体とのつながりはどうなるのか。

(事務局) 長野県環境部において、全県を圏域に分けた「水道広域化推進プラン」の作成に取り組んでおり、上小地域は県営水道が上田・長野圏域に関わっているため、上田・長野圏域を対象として検討している。この長野県環境部の検討結果の中で、上小地域の広域化、広域連携の取り組みについてプランが示されると考えている。

広域化プランは県が計画し、上田市には県営水道があるため、上田と長野は切り離せないと考えている。県の計画によっては、今後上小地域と上田長野圏域を広域化するということがあるかもしれない。

(2) 下水道事業の広域化、共同化について

○事務局から資料2に基づき、水道事業の広域化、広域連携について説明

・委員からの意見、質疑応答は以下のとおり

(委員) 「下水道施設の統廃合は、受け入れ先の施設がある地域の理解が必要」とあるが、地域住民への説明は十分な説明をお願いしたい。

(事務局) 水道事業と同様に下水道施設もダウンサイジングし、経費を削減していきたい。丸子地域の統廃合を行ったが、上田地域についても今後統廃合を進めていきたい。そのために、ご意見のとおり地域住民へ親切で丁寧な説明をしていく。

7 その他

(委員) 審議会に産業水道委員会の議員は傍聴に来ないのか。

(事務局) 6月議会の産業水道委員会で本日と同様の説明を行った。今日の審議会の意見を産業水道委員会の議員に伝えていきたい。

8 閉会